

斐太北

ホームページ



妙高市立斐太北小学校

令和7年1月27日

TEL 0255-72-2629

myoko.hidakita-es@edu-niigata.ed.jp

うまくいかない時間も、学びです ―揺れながら育つ―

本校はユネスコスクールとして、持続可能な社会の創り手を育てる学びを大切にしています。その実践の一つが、単元内自由進度学習です。「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を子ども自身が考え、選び、振り返る学びに取り組んでいます。

1年生は1月、国語と算数で合わせて7時間、初めてこの学び方に挑戦しました。分からないと声に出し、友達と教え合う姿が多く見られました。担任は、「なぜ学ぶのか」「挑戦を楽しめているか」と問い返ししながら、学び方を振り返る時間を大切にしました。困ったときに安心して伝えられる雰囲気が育ち始めています。

5, 6年生は、社会と算数で22時間の単元に取り組みました。2時間続きの学びでは、休憩の取り方も自分で考えます。集中が切れ、思わず体を動かしてしまう場面もありましたが、これは失敗ではありません。自由に学び始めたからこそ表れる、学びが深まる途中の「揺れ」です。担任はすぐに注意するのではなく、「今の行動は、みんなの学びにどう関わっていたか」と問い返し、「自分でぐんぐん、みんなでぐんぐん」という学びの価値に立ち戻る対話を行いました。

また、間違えた問題をそのままにせず、「なぜ間違えたのか」「どう考え直すか」を大切にしたいと語る6年生の姿も見られました。自力で考える、友達に聞く、教師に相談する。その選択を自分ですること自体が、学びをつくる力です。

個での学びを大切にしながら、一人一人に合った支援を重ねています。学校評価も生かし、来年度の学びを構想する中で、確かな手応えを感じています。子どもも大人も、揺れながら、学びをつくり続けていきます。

地域の皆様、日頃からの見守りや声かけに、心より感謝いたします。1月は「おはようございます」の挨拶に力を入れています。子どもたちを見かけた際には、ぜひ一声かけてください。その一言が、子どもたちの「やってみよう」という力になります。よろしくお願いします。



家庭での見守りワンポイント👉いかかでしょう

お子さんが学校の学びについて話してきたときは、ぜひ次のような声かけを意識してみてください。

「今日はどんなことを考えたの？」 → 正解よりも、考えた過程に目を向けてあげてください。

「うまくいかなかったことも教えて」 → 失敗や迷いも、成長の途中で大切な経験です。

「どうしようとしたの？」 → 自分で選び、工夫したことを言葉にする力が育ちます。

すぐに答えを教えたり、代わりに解決したりするよりも、**考えたことを聞いてもらえた経験**が、次に挑戦する力につながります。祖父母や兄姉の皆さんとも共有していただけると、より効果的です。

(株)有沢製作所様から ICT 機器をご寄附いただきました。

詳しくは、ESD だより NO.19 に掲載しました。妙高市教育委員会からの感謝状を届けながら、早速活用させていただいた様子を報告させていただきました。市報でも紹介していただく予定です。



2月の行事予定

2日(月)	委員会(4年生見学)
6日(金)	1、2年生雪遊び(自然の家)
9日(月)	2年生校外学習(うみがたり)
10日(火)	3～6年生スキー教室(池の平)
13日(金)	スキー教室予備日
16日(月)	移行学級 委員会最終(引継ぎ)
18日(水)	6年生 PTC 活動 新井中学校入学説明会 3年生校外学習(上越市立歴史博物館)
24日(火)	主任児童委員・民生委員・児童委員懇談会
25日(水)	校内版画展・書初め展(～27日)
26日(木)	学習参観 PTA 総会 学年懇談会 PTA 引継ぎ PTA 会計監査

新潟日報社「大好き」

掲載のお知らせ

新潟日報社朝刊の上越面には、上越地域の小学生の作文を紹介する「大好き」というコーナーがあります。

この度、斐太北小学校の子どもたちの作文が掲載されることとなりました。各学年男女1名ずつです。

掲載期間は2026年1月28日から2月中旬を予定しているとのことです。

「子どもたちの大好きは何か？」と、楽しみにしててください。